

平成28年度 豊かなむらづくり全国表彰事業 東北ブロック受賞事例の概要

【東北農政局長賞】

～ ようこそ飯豊町チャレンジSHOPへ！
食農教育の継続が生み出した「農都交流」 ～

受賞団体：JA山形おきたま飯豊地区青年部（山形県飯豊町）

◆むらづくりの背景・経緯

山形県飯豊町は全国有数の良食味米生産地だが、近年の米価の下落や頻発する自然災害、資材費の高騰などに加えて農家戸数の減少や後継者不足など、農業とりわけ米をめぐる情勢は大変厳しい状況にあった。地域農業の担い手として期待されているJA青年部でも、盟友数の頭打ちや活動のマンネリ化などによって停滞ムードが漂い、こうした状況を打破する新たな活動が求められていた。

このような状況の中でJA青年部では、稲作体験出前授業を柱とした食農教育事業への取り組みを開始し、農業者が直接、都会の消費者とふれあう機会を作り出し、飯豊町や町内事業者と連携した都市との交流事業の創出と運営を行ってきた。

東京の小学校への稲作体験出前授業から始まったJA青年部と都市住民との交流は、12年に渡り継続的に続けられており、都市部の子どもたちが農業とふれあう貴重な場となっている。

◆むらづくりの内容

○農業生産面

都市との交流は、都内小学生を受け入れての農業・農村体験という、山形・東京間の双方向の交流へと発展させている。さらに都内商店街とのブランド開発や都内商店街へのアンテナショップ開店、学校給食への町内産米納入など、次々に新たな展開を見せている。出前授業や訪問体験といった食農教育の継続で得た信頼関係をもとに、東京都杉並区の高円寺純情商店街とブランド開発に着手し、ブランド米と日本酒（ワンカップ）を協同開発している。

JA青年部のアイデアと行動力によって生まれた都市住民との交流は、小さなキッカケから、地道な努力により、町への訪問客の増加や町内産米の販路拡大などへとつながっている。



都市との交流

○生活・環境整備面

都内商店街に開店したアンテナショップは、飯豊町が進める「農都交流」「移住促進」事業の基幹的役割を果たしており、飯豊町の農業者が直接販路開拓や、営業拠点として利用できる体制を作ったことで、農商工連携や6次産業化の起爆剤的な役割を担っている。

さらには移住セミナーの開催の場となるなど移住等も見据えた交流活動につながっている。



高円寺チャレンジショップ
(アンテナショップ) の状況